

メディアとわたしたちとのかかわりについて考えよう
めあて

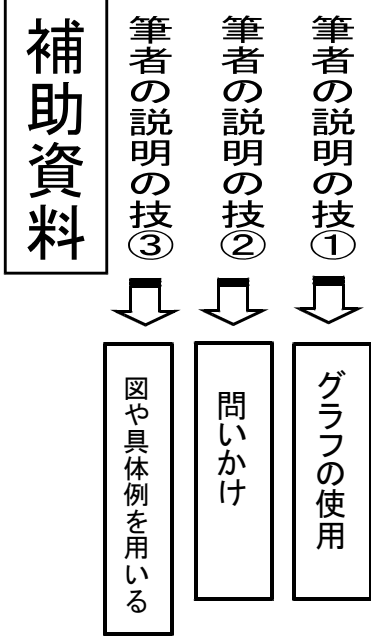
意見と具体例との関係に注意して、意見文にまとめよう。

○意見文にまとめるときの条件

- ① 『() とのかかわり方』という題名をつける。
- ② メディアの特ちょうについて書く。
- ③ 内容の「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる具体例を書く。
- ④ 自分が高上げたメディアについて具体例から言えること、今後のメディアとのかかわり方について自分の考えを書く。
- ⑤ 文末表現を工夫する。「() ではないでしょうか。」「() かもしれません。」など

☆「白い部分」のヒント ※想像してみよう

- ・ちがう場所でも同じことが言えるか。
- ・ちがう時間でも同じことが言えるか。
- ・ちがう考えの人がさつ影するとどのような場面になるのか。



【8 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート「テレビとの付き合い方」⑧
本時のねらい

- ① 意見と具体例との関係に注意させ、メディアとの関わりについての意見文をまとめさせる。
- ② 序論・本論・結論のまとまりを考えさせ、文章全体の構成を理解させる。

1 前時の学習を振り返りながら、学習計画表で本時の学習内容とめあてを確認する。

- 本時は、前時に作った構成メモを基に意見文にまとめ、時間があれば発表の練習も行うことを確認する。

2 意見文にまとめる。

- 条件に従って自分が選んだメディアについて意見文にまとめさせる。
以下の条件を提示して書かせていきます。

- ① 『() とのかかわり方』という題名を付ける。
- ② メディアの特徴について書く。
(メディアとの普段の関わり方等を書き加えてもよい。)

- ③ 内容の「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる具体例を書く。
- ④ 自分が高上げたメディアについて具体例から言えること、これからのメディアとの関わりについて、自分の考えを書く。

- ※ ⑤ 文末表現を工夫する。「() ではないでしょうか。」「() かもしれません。」など
- ※ ③の「黒い部分」はメディアから得られる情報をそのまま書くことよいのですが、「白い部分」は想像して書くことになるので、必要に応じて板書のようなヒントを与えます。
- ※ これまで学習した筆者の意見の述べ方の工夫(説明の技)、筆者が用いている言葉をもとめた補助資料を提示します。

3 発表の練習をする。

- ※ 早く終わった児童には、必要があれば発表の際に使用する写真などの準備をしてもよいことを伝えます。

評価

① 意見と具体例との関係に注意して、意見文にまとめている。
② 文章全体の構成を理解している。

(読イ)
(言イ(キ))

4 学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

- 次時は、お互いに紹介し合い、メディアとの関わりについて考えを深めていこうと投げ掛ける。